

## システム必要条件

### オペレーティング システム

Nintex Workflow 2007™はMicrosoft Windows Server 2003または2008にインストールする必要があります。

### ブラウザ クライアント

Microsoft Internet Explorer 6.x (ただしMicrosoft Internet Explorer 7以降を推奨)。

### ソフトウェア

Nintex Workflow 2007™では、次のソフトウェアがインストールされ、正しく構成されている必要があります。

- Microsoft Windows SharePoint Services 3.0またはMicrosoft Office SharePoint Server 2007
- Microsoft .NET Framework 3
- Windows Server 2003または2008
- SQL Server 2000、2005または2008
- **注意:** Nintex Workflow 2007はスタンドアロンのSharePointが使用しているWindows Internal Databaseには接続できません。

## インストール手順目次

<b>1 Nintex Workflow 2007™のインストール</b>	<b>2</b>
1.1 インストーラーの実行	2
1.2 ソリューション パッケージの展開	3
1.3 Nintex Workflow 2007™ Enterpriseの機能のインストール (オプションの追加機能)	4
1.4 ライセンスのインポート	5
<b>2 データベース構成</b>	<b>6</b>
2.1 構成データベース	6
2.2 コンテンツ データベース	7
<b>3 NW2007サーバー設定の構成</b>	<b>8</b>
3.1 Webアプリケーションでのアクティブ化	8
3.2 NW2007 Workflowアクションの有効化	8
3.3 電子メール設定の構成	8
3.4 LazyApproval™設定の有効化と構成(オプションの追加機能)	9
<b>4 機能のアクティブ化</b>	<b>10</b>
4.1 サイト コレクションのアクティブ化	10
4.2 チーム サイトのアクティブ化	11
4.3 Nintex Workflow 2007™ Enterprise機能のチーム サイトのアクティブ化 (オプションの追加機能)	12
<b>付録A ユーザー アクセス制御(UAC)に関する注意事項</b>	<b>13</b>

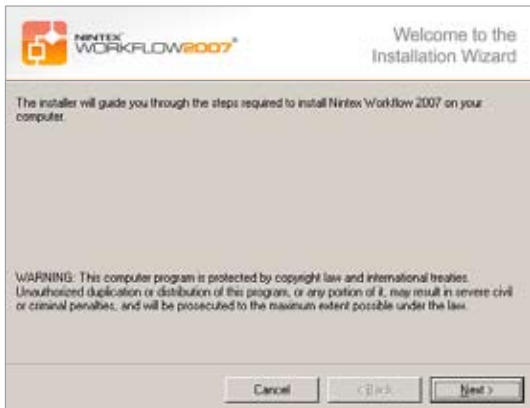
## 1 Nintex Workflow 2007™のインストール

### 1.1 インストーラーの実行

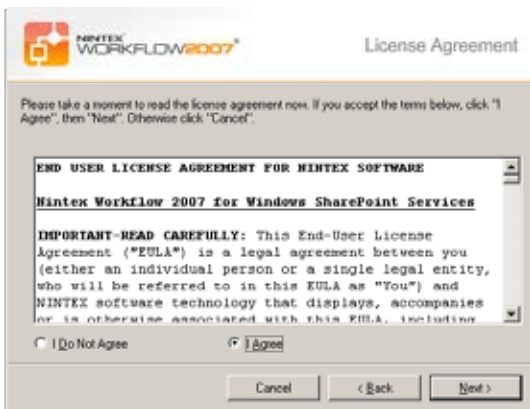
- ソリューションおよび機能を展開するのに十分な特権を持つ SharePoint 管理者としてサーバーにログインします。

インストーラーファイル(msi)をダブルクリックして[Next]をクリックします。

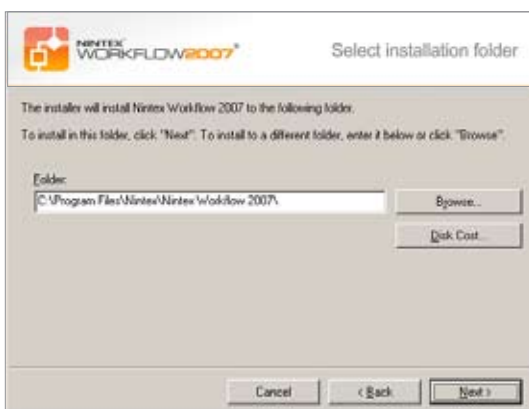
**注意:** ユーザーアクセス制御(UAC)を有効にしている場合は、付録Aを参照してください。



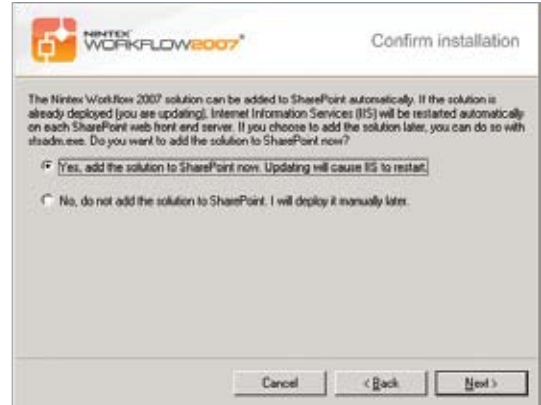
- 使用許諾契約書に目を通します。インストールを続けるには、[I Agree]を選択する必要があります。[Next]をクリックします。



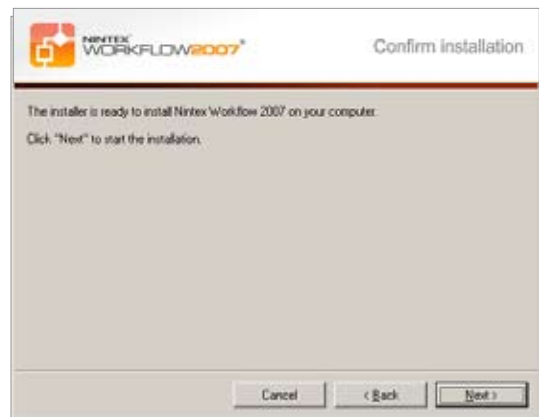
- Nintex Workflow 2007のインストール場所を選択します。既定の場所は C:\Program Files\Nintex\Nintex Workflow 2007\ です。選択後、[Next]をクリックします。



- SharePointに今すぐソリューションを追加するか(推奨)、後でstsadmを使用してインストールするか(詳細設定)を選択します。



- 続行する準備ができたというメッセージが表示されます。[Next]をクリックします。



- 今すぐソリューションを追加することを選択した場合は、コマンドプロンプトウィンドウが表示され、すぐに表示されなくなります。少し待つと[Installation Complete]画面が表示されます。[Close]ボタンをクリックします。SharePointサーバーの全体管理がバックグラウンドで読み込まれているはずですが。

## 1 Nintex Workflow 2007™のインストール(続き)

### 1.2 ソリューションパッケージの展開

1. “nintexworkflow2007.wsp”というソリューションが表示されます。“nintexworkflow2007enterprisefeatures.wsp”というエントリも表示されますが、こちらはEnterpriseバージョンのライセンスをお持ちの場合にのみ展開してください。

サーバーの全体管理 > サーバー構成の管理 > ソリューション管理

### ソリューション管理

このページには、ファーム内のソリューションのリストが表示されます。

名前	状態	展開先
nintexworkflow2007.wsp	未展開	なし
nintexworkflow2007enterprisefeatures.wsp	未展開	なし

2. “nintexworkflow2007.wsp”リンクをクリックし、ツールバーの[ソリューションの展開]リンクをクリックします。

サーバーの全体管理 > サーバー構成の管理 > ソリューション管理 > ソリューションのプロパティ

### ソリューションのプロパティ

ソリューションの展開 | ソリューションの削除 | ソリューションに戻る

名前:	nintexworkflow2007.wsp
種類:	コア ソリューション
Web アプリケーション リソースを含む:	はい
グローバル アセンブリを含む:	はい
コード アクセス セキュリティ ポリシーを含む:	いいえ
展開先サーバーの種類:	フロントエンド Web サーバー
展開状態:	未展開
展開先:	なし
最終処理の結果:	ソリューションで処理が実行されませんでした。

3. [展開先]セクションで、[すべてのコンテンツWebアプリケーション]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします (ボタンはここでは非表示)。

サーバーの全体管理 > サーバー構成の管理 > ソリューション管理 > ソリューションのプロパティ > ソリューションの展開

### ソリューションの展開

このページを使用して、ソリューションを展開します。

<b>ソリューション情報</b> 展開するソリューションの情報を示します。	名前: nintexworkflow2007.wsp ロケール: 0 展開先: なし 展開状態:
<b>展開する時刻</b> このソリューションを展開するために、タイムジョブが作成されました。このソリューションを展開する時刻を指定してください。	ソリューションを展開する時刻 <input checked="" type="radio"/> 今すぐ実行 <input type="radio"/> 指定時刻 [2010/01/12] [22] [00]
<b>展開先</b> ソリューションは、Web アプリケーションを対象範囲にするリソースを含んでおり、特定の Web アプリケーションに展開されます。ソリューションを展開する Web アプリケーションを選択してください。	このソリューションを展開する Web アプリケーションの選択 [すべてのコンテンツ Web アプリケーション] <p><b>警告:</b> このソリューションを展開すると、グローバル アセンブリ キャッシュにアセンブリが配置されます。これによって、ソリューション アセンブリに完全な信頼が行われます。ソリューションの提供元を信頼しない場合は、先に進まないでください。</p>

4. 少したつと、[ソリューション管理]ページに戻ります。Nintex Workflow 2007™が[展開済み]として表示されているはずですが。

## 1 Nintex Workflow 2007™のインストール(続き)

### 1.3 Nintex Workflow 2007™ Enterpriseの機能のインストール(オプションの追加機能)

1. [サーバーの全体管理]で[サーバー構成の管理]、[ソリューション管理]の順に選択します。



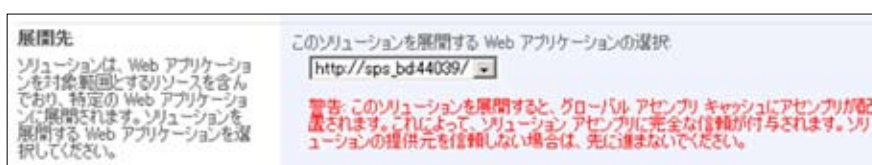
2. "ninteworkflow2007enterprisefeatures.wsp"リンクをクリックし、[ソリューションの展開]をクリックします。



3. [展開先]セクションで、[すべてのコンテンツWebアプリケーション]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします (ボタンはここでは非表示)。



4. 少したつと、[ソリューション管理]ページに戻ります。NintexWorkflow2007EnterpriseFeatures.wspが[展開済み]として表示されているはずですが、"NintexWorkflow2007EnterpriseFeatures.wsp"を展開する手順を再度繰り返し、[サーバーの全体管理]Webアプリケーションを[展開先]に選択します。

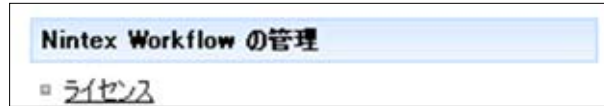


注意: これはSharePointサーバーの全体管理から管理レポートを実行するために必要です。

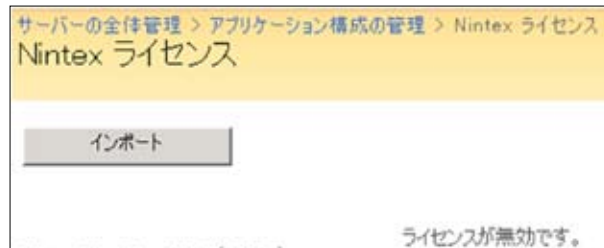
## 1 Nintex Workflow 2007™のインストール(続き)

### 1.4 ライセンスのインポート

- 製品の全機能を使用できるようにするには、完全版製品ライセンスまたは評価版ライセンスのライセンス ファイルをNintexから受け取る必要があります。受け取ったライセンス ファイルは、SharePointサーバーの全体管理にインポートする必要があります。[サーバーの全体管理]の[アプリケーション構成の管理]タブをクリックします。Nintex Workflow 2007のサーバー管理セクションの[ライセンス]リンクをクリックします。



- [ライセンス]の設定ページの[インポート]ボタンをクリックします。



- 参照ボタンでライセンス ファイルを見つけ、見つかったら[インポート]ボタンをクリックします。



- [ライセンス]情報が表示されます。



これでNintex Workflow 2007™のデータベース構成に進むことができます。

## 2 データベース構成

### 2.1 構成データベース

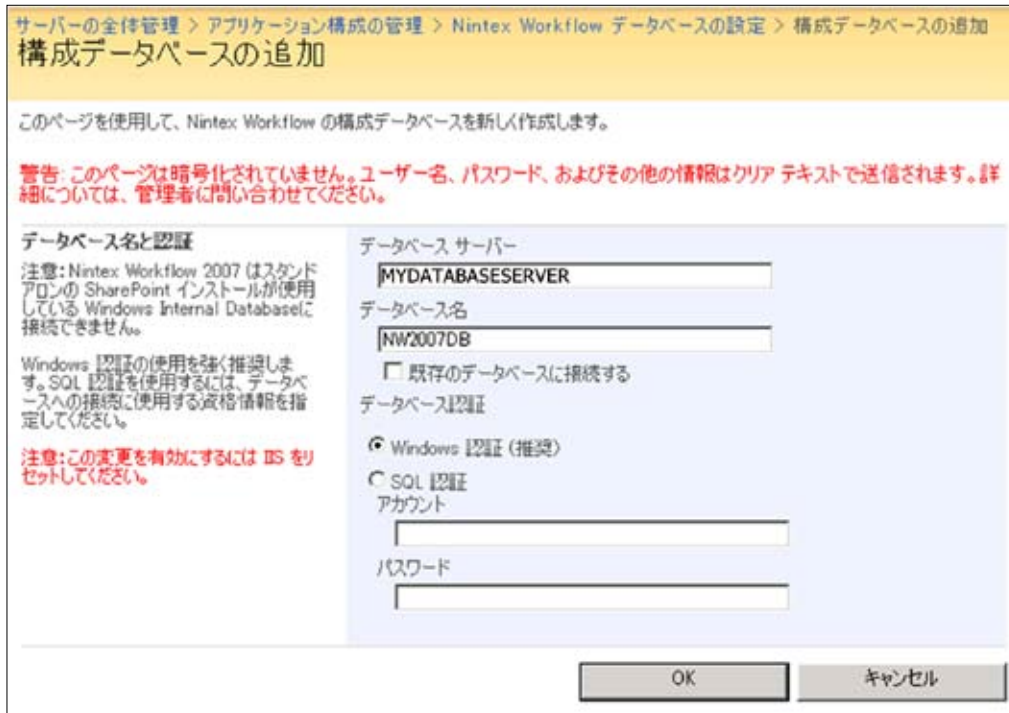
1. [サーバーの全体管理]の[アプリケーション構成の管理]タブをクリックします。
2. [Nintex Workflowの管理]セクションで[データベースの設定]をクリックします。



3. [構成データベース]の下の[作成]ボタンをクリックします。



4. データベース サーバーの名前を入力します(既定のSharePointデータベース サーバーが既定の設定となります)。



5. データベースの名前を入力します。NW2007では複数のデータベースを使用して、1つを構成に、もう1つをコンテンツに使用することができます。既定では、構成データベースはコンテンツ データベースも兼用します。オプションでさらにデータベースを追加することもできます。

## 2 データベース構成(続き)

### 2.2 コンテンツ データベース

6. オプション:[コンテンツ データベースを追加]リンクをクリックします。

サーバーの全体管理 > アプリケーション構成の管理 > Nintex Workflow データベースの設定

### Nintex Workflow データベースの設定

このページを使用して、Nintex Workflow データベースの設定を管理します。

データベース バージョン: 1.0.3.6

構成データベース

SPS\_BDWOfficeServers  
Data Source=SPS\_BDWOfficeServers;Initial Catalog=NW2007DB;Integrated Security=True 編集

コンテンツ データベース

コンテンツ データベース 接続文字列  
SPS\_BDWOfficeServers Data Source=SPS\_BDWOfficeServers;Initial Catalog=NW2007DB;Integrated Security=True;User ID=Password=

- コンテンツ データベースを追加
- データベース マッピングを表示
- データベース マッピングの管理

7. コンテンツ データベースを追加するには、[既存のデータベースに接続する]チェックボックスをオンにして[OK]をクリックします (ボタンはここでは非表示)。

サーバーの全体管理 > アプリケーション構成の管理 > Nintex Workflow データベースの設定 > コンテンツ データベースの追加

### コンテンツ データベースの追加

このページを使用して、Nintex Workflow のコンテンツ データベースを新しく作成します。

**警告:** このページは暗号化されていません。ユーザー名、パスワード、およびその他の情報はクリア テキストで送信されます。詳細については、管理者にお問い合わせください。

データベース名と認証  
注意: Nintex Workflow 2007 はスタンドアロンの SharePoint インストールが使用している Windows Internal Databaseに接続できません。  
Windows 認証の使用を強く推奨します。SQL 認証を使用するには、データベースへの接続に使用する資格情報を指定してください。  
注意: この変更を有効にするには IS をリセットしてください。

データベース サーバー  
MYDATABASESERVER

データベース名  
NW2007DB

既存のデータベースに接続する

データベース認証  
 Windows 認証 (推奨)  
 SQL 認証  
アカウント  
パスワード

## 3 NW2007サーバー設定の構成

### 3.1 Webアプリケーションでのアクティブ化

1. [アプリケーション構成の管理]タブをクリックし、[Nintex Workflowの管理]セクションの[Webアプリケーションのアクティブ化]をクリックします。
2. 既定のWebアプリケーション名が自動選択されます。[アクティブ化]ボタンをクリックします。



### 3.2 NW2007 Workflowアクションの有効化

3. [アプリケーション構成の管理]タブをクリックし、[Nintex Workflowの管理]セクションの[許可されたアクションの管理]をクリックします。
4. Workflow Designerに表示するアクションのボックスをオンにして、[保存]をクリックします(ここでは非表示)。

サーバーの全体管理 > アプリケーション構成の管理 > 許可されたアクションの管理

このページを使用して、このサーバーファームで有効なワークフロー アクションを管理します。

このファームで次のワークフロー アクションは既定です。

■ アクションの追加

カテゴリ	名前	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
Exchange 2007	タスクの作成	Exchange 2007 タスクを作成します	<input checked="" type="checkbox"/>
Exchange 2007	予約の作成	Exchange 2007 予約を作成します	<input type="checkbox"/>
SharePoint プロファイルユーザー	プロフィールのクエリ	ユーザー プロファイルのプロパティを取得します。	<input checked="" type="checkbox"/>
SharePoint プロファイルユーザー	プロフィールの更新	ユーザー プロファイルのプロパティを更新します。	<input type="checkbox"/>
SharePoint プロファイル	対象ユーザーのエンボイル	対象ユーザーをエンボイルします。	<input checked="" type="checkbox"/>
SharePoint プロファイル	対象ユーザーの作成	新規に対象ユーザーを作成します。	<input checked="" type="checkbox"/>
SharePoint プロファイル	対象ユーザーの削除	対象ユーザーを削除します。	<input checked="" type="checkbox"/>
サイトとワークスペース	サイト コレクションの解除	SharePoint サイト コレクションを解除します。	<input checked="" type="checkbox"/>
サイトとワークスペース	サイト コレクションの作成	新しい SharePoint サイト コレクションをプロビジョニングします。	<input checked="" type="checkbox"/>
サイトとワークスペース	サイトの作成	サイトを新規作成します。	<input checked="" type="checkbox"/>
サイトとワークスペース	サイトの削除	サイトを削除します。	<input checked="" type="checkbox"/>
プロビジョニング	Active Directory アカウントの解除	Active Directory のアカウントを無効にするか、削除します。	<input checked="" type="checkbox"/>
プロビジョニング	Active Directory アカウントの更新	Active Directory のアカウントを更新します。	<input checked="" type="checkbox"/>
プロビジョニング	Active Directory アカウントの作成	Active Directory のアカウントを作成します。	<input checked="" type="checkbox"/>

### 3.3 電子メール設定の構成

5. [アプリケーション構成の管理]タブをクリックし、[Nintex Workflowの管理]セクションの[グローバル設定]をクリックします。
6. 使用環境に適した詳細を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

サーバーの全体管理 > アプリケーション構成の管理 > グローバル設定

### グローバル設定

Nintex Workflow のグローバル設定を行います。このページで行った設定はファーム内のすべてのサイトに適用されます。

**注意:** この変更を有効にするには **OK** をクリックしてください。

**電子メールの設定**  
Nintex のワークフローから電子メールを送信する際に使用する SMTP サーバーのアドレスを設定します。

送信用 SMTP サーバー:

発出人のアドレス:

送信先アドレス:

## 3 NW2007サーバー設定の構成(続き)

### 3.4 LazyApproval™設定の有効化と構成(オプションの追加機能)

- [アプリケーション構成の管理]タブをクリックし、[Nintex Workflowの管理]セクションの[Nintex LazyApprovalの設定の管理]をクリックします。
- [サーバーからの受信メールを設定]リンクが表示された場合、この設定がSharePoint用に構成されていないことを示します。SharePoint構成マニュアルの説明に従って構成してください。構成が完了すると、このページに戻ります。

設定の構成が終わっていると、[LazyApprovalの有効化]というリンクが表示されるので、このリンクをクリックします。



- [有効]オプションを選択します。通知を送信したりLazyApprovalの返信を受けたりする際の別名に使う「エイリアス」名の入力を求められます。[OK]ボタンを押します。



- 使用可能な語句の一覧が表示されます。これらはLazyApprovalプロセスで認識される語句です。独自の判断で語句を追加したり削除したりできます。終了したら[OK]ボタンをクリックします(ここでは非表示)。



## 4 機能のアクティブ化

### 4.1 サイト コレクションのアクティブ化

1. 最上位のサイトレベルのホームページに移動し、[サイトの操作] > [サイトの設定]の順にクリックします。



2. 右側の[サイト コレクションの管理]で[サイト コレクションの機能]をクリックします。



3. [Nintex Workflow 2007]セクションで[アクティブ化]ボタンをクリックします。



4. 少し待つとページが更新され、ステータスが[アクティブ]になります。



5. このサイト コレクションのチーム サイトでNintex WorkflowのWebパーツを使用するには、[Nintex Workflow 2007 Webパーツ]セクションで[アクティブ化]をクリックします。

これでチーム サイトでもNintex Workflow 2007™機能をアクティブ化できるようになります。

## 4 機能のアクティブ化(続き)

### 4.2 チーム サイトのアクティブ化

チーム サイト用にNintex Workflow 2007™を有効にする方法は、サイト コレクションを有効にする手順と同じですが、手順2だけが異なります。

1. 最上位サイトレベルのホームページで[サイトの操作] > [サイトの設定]をクリックします。



2. 右側の[サイトの管理]列で[サイトの機能]をクリックします。



3. [Nintex Workflow 2007™]セクションの[アクティブ化]ボタンをクリックします。



4. 少し待つとページが更新され、ステータスが[アクティブ]になります。



これでNintex Workflow 2007™の設計および操作が可能になります。詳細については、Nintex Workflow 2007™機能を使用する任意のページからアクセスできる製品ヘルプファイルを参照してください。

## 4 機能のアクティブ化(続き)

### 4.3 Nintex Workflow 2007<sup>™</sup> Enterprise機能のチームサイトのアクティブ化(オプションの追加機能)

チームサイト用にNintex Workflow 2007<sup>™</sup> Enterprise機能を有効にする方法は、主な機能をアクティブ化する手順と同じです。

1. 最上位サイト レベルのホームページで[サイトの操作]>[サイトの設定]をクリックします。



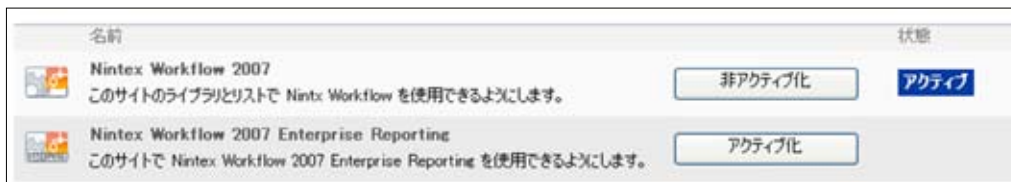
2. 右側の[サイトの管理]列で[サイトの機能]をクリックします。



3. [Nintex Workflow 2007<sup>™</sup>]セクションの[アクティブ化]ボタンをクリックします。



4. [Nintex Workflow 2007 Enterprise Reporting]セクションの[アクティブ化]ボタンをクリックします。



これでNintex Workflow 2007<sup>™</sup>の設計および操作が可能になります。詳細については、Nintex Workflow 2007<sup>™</sup>機能を使用する任意のページからアクセスできる製品ヘルプファイルを参照してください。

## 付録A: ユーザー アクセス制御(UAC)に関する注意事項

### 付録A

使用環境でUACが有効になっている場合は、管理者特権でmsiを実行する必要があります。

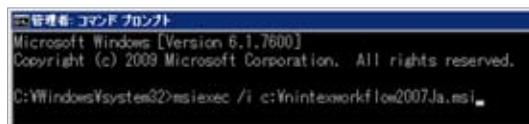
1. [スタート]メニューをクリックし、[コマンド プロンプト]オプションを選択します。[管理者として実行]を選択します。



2. [はい]ボタンをクリックします。



3. 「msiexec /i c:\nintexworkflow2007.msi」というコマンドを入力します。



注意: パスをmsiファイルのダウンロード先の場所に置き換えます。